

平成28年度 学校法人 永井学園 学校評価(自己評価)集計結果

大項目	点検・評価項目	個人コメント欄	学校コメント欄	学校評価 平均値	有効 回答数
1 人目 人材育 育・理 成 念 像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	文書等を見たことがない	毎年度当初に配布している「学生の手引き」にも示されている	3.2	19
	1-2 学校における職業教育の特色は何か	明文化されていないと感じる 留学生の増加で変化してきていると思う	当学園の特色については、概ね理解されているが、状況に応じて新たな特色づくりも必要と考える。	3.1	17
	1-3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか		各学科においての方向づけはできているが、他学科に対する共通理解を高めていきたい。	3.2	19
2 学校 運営	2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか		引き続き一貫した理念と、時代に即応していく柔軟性を兼ね備えていく必要があると考える。	3.1	19
	2-2 事業計画に沿った運営方針が策定されているか		半期ごとに各学科学において策定されているが、引き続き時宜にかなう対応も必要と考える。	3.2	19
	2-3 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	規則があるか不明	組織図に基づき、学園全体および学科ごとの体制は明確にされている。また、危機管理マニュアルのガイドラインも作成した。	3.0	19
	2-4 人事、給与に関する制度は整備されているか	非常勤講師採用において明確に提示できる制度がない	各講師の経験等を踏まえて契約条件を示している	2.6	19
	2-5 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか		就業規則に則り公正な人事考課を行っている。今後も公正な評価を続けていく。	2.9	19
	2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか		今年度は、特に学内ネットワーク環境の整備を行った。	2.8	19
3 教育 活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか		策定されていると認識している。引き続き分野のニーズに即応した柔軟な視点も兼ね備えるよう努力したい。	3.2	19
	3-2 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		各分野のニーズに即応した編成を行っているが、さらに時代の要請により精査していく必要があると考える。	3.2	19
	3-3 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか		実施されているが、さらに時代に即応した柔軟な視点で見直しを図る面も必要と考える。	2.9	19
	3-4 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか		学科の特質に応じてできていると、認識している。	3.0	19
	3-5 授業評価の実施・評価体制はあるか	研究授業をする 生徒にアンケートを実施	現状としてその体制はないので、今後の課題としていきたい。	2.8	19
	3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか		教務内規によって、明確にされている。	3.5	19
	3-7 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	留学生の指導において取り組みがあると感じる	年間授業計画の中に組み入れられており、それに沿って指導が行われている。	3.3	19
	3-8 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		確保できていると認識している。	2.9	19
	3-9 職員の能力開発のための研修等が行われているか	独学で試験に合格したら、補助金があっても良いと思う 職員全体での研修の機会があると良い 新任教員も増え、研修態勢の強化があると良いと思う 今まで、研修は行っていないと思う	外部の教職員研修等に参加しているが、学科により頻度に差がある。今後の課題としたい。	2.3	19
4 学 修 成 果	4-1 就職率の向上が図られているか	ハローワークとの連携が良い	少人数制と担任制の利点を生かした指導を行っている。	3.3	19
	4-2 資格取得率の向上が図られているか		学生の資格取得率を把握することにより、資格取得カリキュラム内容の見直しを図っている。今後もそれを実施していく。	3.1	19
	4-3 退学率の低減が図られているか	全体での取り組みを多くする	少人数制と担任制の利点を生かした指導を行っている。	3.2	19
	4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	追跡調査も必要ではないか	把握に努めているが、さらに卒業生の就職先等への訪問などを計画的に進めていく必要があると考える。	2.9	19
5 学 生 支 援	5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか		学科によって、支援体制が異なっている。引き続き学園全体の体制づくりを策定していきたい。	3.3	19
	5-2 学生相談に関する体制は整備されているか	カウンセラー室が必要ではないか 学生の立場に立った対応が必要と感じる	担任が学生相談を受け持っているが、専任のカウンセラーは置いていない。	3.0	19
	5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか		学園独自の奨学金制度を設けている。	2.9	19
	5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	体調不良時など、横になれる保健室があると良い (保健室の整備)	毎年、健康診断を行っている。	2.7	19
	5-5 学生の生活環境への支援は行われているか	留学生の指導において注意深く指導していると感じる	提携している学生寮やマンションを用意している。	3.0	19
	5-6 保護者と適切に連携しているか	留学生の場合は保護者と必ずしも適切に連携が取れるとは言えない	各学科在籍の学齢等、必要に応じて連携の度合いを調整している。引き続きそれに努めていく。	3.0	19
	5-7 卒業生への支援体制はあるか		支援内容により、職員間の認識に差があると思われる。	2.7	19
	5-8 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか		今後、その分野の開拓が必要と考える。	2.4	19

平成28年度 学校法人 永井学園 学校評価(自己評価)集計結果

大項目	点検・評価項目	個人コメント欄	学校コメント欄	学校評価 平均値	有効 回答数
6 教育環境	6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	図書室・保健室等が必要と感じる空調や電話の整備された(今後、トイレ等の古い箇所をどうするのか疑問)	専門業者による定期的なメンテナンスを実施し、さらに改善に努めていきたい。	2.7	19
	6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか		学科の特質に応じてできていると、認識している。	2.7	19
	6-3 防災に対する体制は整備されているか		関係各署の指導を仰ぎながら防災機器の点検・整備を行い、定期的に防災訓練も行っている。	3.2	19
7 学生募集の受入れ	7-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	定期的に高校訪問し、適切に情報交換を行っていると感じる	広報担当者が定期的に出身校に訪問し、情報提供を行っている。	3.3	19
	7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	AO・指定校推薦等、要項通り適正に行われていると感じる	学生募集担当者を置くことはもちろん、教職員全員が広報担当者としての意識を持って業務に当たっている。	3.3	19
	7-3 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	学校案内等に記載され、情報が伝えられていると感じる	定期的に集計を行い、出身学校に対して、状況報告を実施している。	3.2	19
	7-4 学生納付金は妥当なものとなっているか	他校と比較しても高い学費ではない(学校独自の奨学金制度や学費軽減制度もある)	妥当なものであると考えている。	3.2	19
8 財務	8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		安定しているが、さらに盤石のものとしていく必要がある。	3.1	19
	8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		妥当なものであると認識している。	3.1	19
	8-3 財務について会計監査が適正に行われているか		委託先の会計事務所による点検と、当学園理事会・評議委員会により会計監査が行われている。	3.1	19
	8-4 財務情報公開の体制整備はできているか		現在、公開体制を整えている段階である。	2.9	19
9 法令等の遵守	9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか		監督省庁の指導を仰ぎながら運営している。	3.3	19
	9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか		情報保護委員会を設置し、学生および保護者には情報保護ガイドラインを示している。	3.2	19
	9-3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか		昨年度より、実施している。	2.8	19
	9-4 自己評価結果を公開しているか		昨年度より、公開している。	2.9	19
10 地域社会貢献	10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	和裁で大安寺の行事に参加している	要望があれば、教室の貸出を行っている。	2.8	19
	10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか		学生のボランティア活動を年次計画の中に盛り込み、それを実施している。	2.8	19
11 国際交流	11-1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	地域住民との交流が必要と感じる	留学生の受け入れについては、戦略的に行っている。	3.2	19
	11-2 受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか		入国管理局および関係各署の指導を仰ぎつつ、適切に行っている。	3.3	19
	11-3 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか		就職に有利なように、資格取得については重点的に指導している。	2.9	19
	11-4 学内での適切な体制が整備されているか		留学生が母国語でも相談できるように適切に教員を配置している。	2.8	19